

防除情報(病害虫情報 号外 第3号)

令和6年6月5日

果樹カメムシ類の飛来に注意してください

果樹カメムシ類の多発について、4月3日に病害虫発生予察注意報第1号を公表しましたが、その後、果樹カメムシ類は非常に多く発生しています。5月中旬に行った巡回調査では、ナシ幼果で吸汁被害が認められました。引き続き、果樹カメムシ類による被害に御注意ください。

[4～5月の発生状況]

- 5月初旬にミカン花の叩きだし調査を行ったところ、チャバネアオカメムシの捕獲数は、平年より多い状況でした(図1)。
- 予察灯(伊勢原市)における誘殺数が平年より多くなっています。4～5月の2か月間で、チャバネアオカメムシは3,852頭(平年1,135.2頭)で平年の3.4倍、ツヤアオカメムシは12,601頭(平年1,406.0頭)で平年の9.0倍の誘殺数となりました。(図2および図3)
- フェロモントラップ(伊勢原市、南足柄市)におけるチャバネアオカメムシ誘殺数が、平年より多くなっています(図4)。フェロモントラップに誘殺されるカメムシは空腹状態にあるといわれています。フェロモントラップの誘殺数が多い場合は、カメムシが餌を求めて飛び回っている状態と考えられ、果樹園へ飛来する可能性が高くなります。

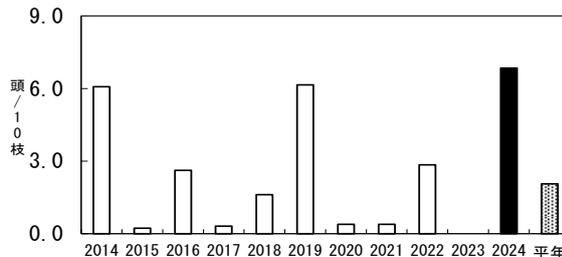


図1 ミカン花の叩きだし調査におけるチャバネアオカメムシ捕獲数(2024年5月9～17日、1地点10枝調査、県内14地点平均)

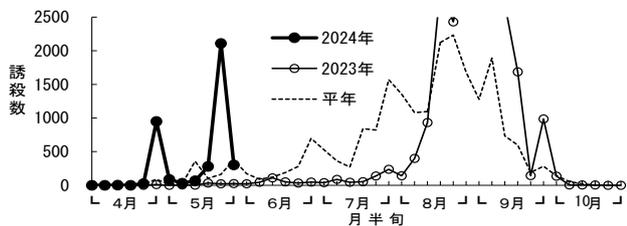


図2 予察灯におけるチャバネアオカメムシ誘殺数(伊勢原)

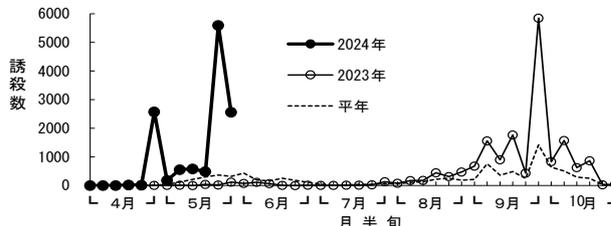


図3 予察灯におけるツヤアオカメムシ誘殺数(伊勢原)

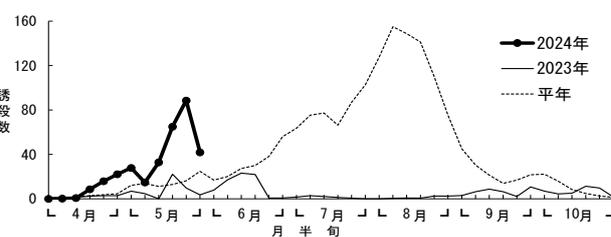
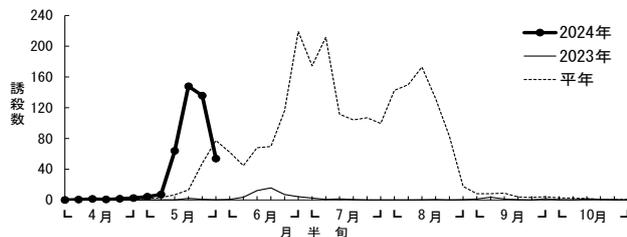


図4 フェロモントラップにおけるチャバネアオカメムシ誘殺数(左:伊勢原, 右:南足柄)

[防除の留意点]

- 今後、気温が平年より高いと予報されており、果樹カメムシ類の活動が活発になると予想されます。園地内外を見回り、飛来を認めたら直ちに防除を行ってください。山際のは場や、例年飛来が確認される園地では特に御注意ください。
- 防除薬剤例は、病害虫発生予察注意報第1号を御覧ください。合成ピレスロイド剤や有機リン剤は天敵類に影響を及ぼし、ハダニ類やカイガラムシ類が増えることがありますので、御注意ください。
- カメムシは園外から飛来します。物理的な防除法(防虫ネットの設置、袋掛け、忌避灯の早期点灯など)と組み合わせた防除対策を検討してください。黄色防蛾灯はチャバネアオカメムシに有効ですが、本年発生が多くなっているツヤアオカメムシに対する忌避効果は認められませんので、御注意ください。

病害虫防除部 TEL 0463 - 58 - 0333

インターネット <https://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f450002/>

○ 農業使用の際は、必ずラベルの記載事項を確認し、使用基準を遵守するとともに飛散防止に努めましょう。